

平成14年度第3回市民活動サポートセンター運営委員会会議録

平成14年10月24日 19:00～20:45

市民活動サポートセンターフレキシブルスペース

出席委員14名：新井・水谷・安倍・飯島・飯塚・今城・岩崎・江口・岡本・根本・松尾・道畑・百瀬・横山（敬称略）

事務局 3名：YMCA よこすかコミュニティサポート 高村・重田
市民生活課 小座野

1 報告事項

次第に沿って報告を行った。

2 審議事項

(1) 市民公益活動団体について

- ・資料7について説明を行い、承認された。（新規28団体、名称変更2団体）
- ・データベース登録団体が増えてきたのに従い、活動しているのか不明の団体も多くなってきたので、現在も団体として存在するのか否かを更新の際に再確認していく。

(百瀬委員)

- ・団体がどのような活動を行っているか分かるようにするために、すべての団体に会報等の資料をファイルにして貰い、書架に配架したらどうか。

(新井委員)

- ・利用者用のパソコンにデータベースがあり、それを見れば活動の概要は分かるようになっている。

(2) 利用者ミーティングについて

ア テーマ別ミーティングを行うことについて

(新井委員)

- ・前回行った利用者ミーティングの参加者は、サポートセンターの運営やあり方に興味がある人であった。もう少し個別のテーマで実施し、利用者の意見として集約し、それを運営委員会に反映していったらより良いサポートセンターになると思う。

- ・利用者ミーティングの中で、「個別のテーマ」と「サポートセンターの運営やあり方全般」の2つを行ったらどうか。
- ・多くの利用者が参加しやすい工夫として良いと思う。そして推進セミナーや推進フォーラムにも繋げていける。

(今城委員)

- ・「サポートセンターで不足しているサービスは何か」や「購入を希望する本やソフト」などのテーマで行うのも良いと思う。
- ・個別のテーマに「危機管理1 会員情報の管理どうしている!？」というのがあるが、予断であるが、パソコン講座受講者の名簿を作成して配付したら、個人情報の載っているものの受け取りを拒否した方もいた。あらためて情報の取り扱いの難しさを我々も再認識した。

(松尾委員)

- ・利用者ミーティングの時に個別のテーマがあると話しやすいと思う。しかし、15人位の人数になってしまうとほとんど自己紹介だけで終わってしまうので、5人位の小グループに分けて1時間位議論を行い、その結果を10分位で報告した後に、全体で話し合うというような工夫をすると時間を有意義に使い、有効だと思う。
- ・個別のテーマも毎回変えていくと、マンネリ化が防げて良い。

イ 団体を指名して利用者ミーティングに参加してもらおうという意見について

(飯島委員)

- ・利用者ミーティングに集まらない場合も考えられるので、指名して参加してもらったらどうか。

(安倍委員)

- ・指名して参加してもらうことは、サポートセンターのあり方などに関心を持ってもらうための意識付けのために良いと思う。

(事務局：高村)

- ・少人数のグループだとただでさえ手が足りず、駆り出されることへの抵抗感もある。

(江口委員)

- ・指名されて駆り出されることには、抵抗感がある。「～協会」や「上部団体」に入っておき、単に機器だけを使いたい場合には、非常に負担となってしまう。

ウ 活動領域別にミーティングを行ったらどうかという提案について

(岡本委員)

- ・活動領域別のフォーラムを行ったらどうか。

(事務局：高村)

- ・環境保全活動や子育ての活動など、活動領域別のフォーラムを行うことも団体相互のネ

ットワークが形成できるので良いと思う。

(新井委員)

- ・利用者によって利用の仕方は様々だが、お互いの顔を見ながら話すというのも良い。

(飯塚委員)

- ・利用者の意識付けになり良い。また、そういう場に来てもらうことで「市民協働」を周知することにもなる。

エ 意見全般について

(横山委員)

- ・過去に2回の利用者ミーティングを行ったところ、昼の場合には20人集まったが、夜の場合は1人しか集まらなかったため、何とかしようと考えたのが今回の「テーマ別利用者ミーティング」だと思う。
- ・定期的に利用者が一堂に会して、施設の利用勝手などを話していく中で、自然発生的にテーマが出てきたり、他の団体と交流が出来れば良いのではないかと思う。決して参加も強制されるものではないし、自然発生的で良いということを皆さんの議論の中から感じた。

3 その他

(今城委員)

- ・利用者カードの所に質問や要望などを記載する欄があるが、それに対する回答を利用者が分かるように公開しても良いのではないか。

(事務局)

- ・サポートセンターの開設当初より、事務局の横にある掲示板に回答を掲出している。

(江口委員)

- ・女性用トイレの個室の服などを掛けるフックが高く、高齢者等に不便を生じている。
- ・サポートセンター内は、空気が淀んでおり、独特な匂いがする。
- ・エレベーターから降りてくる人が何の施設か分からないようである。ガラスの所にでも周知用にパネルなどを出したらどうか。
- ・カタカナ表記や「市民協働」という言葉が一般人には分かりにくいので、表現を工夫してもらいたい。
- ・前回配付された連絡網に従って連絡を回したところ、当人が連絡網の存在を知らず、しかも緊急性もないようなことを回すなど30分位文句を言われた。仲間同士で善意で行っていることなのだから余り文句を言わないで欲しい。